

科目名	基礎化学(講義)		科目ナンバー	LA-SS2113		
担当者 (実務経験名)	准教授 無津呂 淳一					
履修期	1年前期		卒業単位	選択必修 2単位		
免許・資格						
授業概要	本講義では、栄養の専門分野を学ぶ上で、必要とされる化学の知識を学ぶ。					
到達目標	知識・理解	(1)モルの概念を理解し、化学反応における量的な関係を説明できる。 (2)食品、栄養に関連する化学物質の構造を説明できる。				
	思考・判断	知識やデータを主体的に理解し、自ら考え、判断できる。				
	興味・意欲・態度	興味・関心のある項目に意欲的に取り組む。				
	技能・表現	基礎的な化学用語を使ってコミュニケーションができる。				
授業計画	授業内容		事前事後学習内容		時間 (時間/週)	
	1	オリエンテーション、学習方法について	事前学習:配布のプリントを見直す。		1	
	2	1章 物質の成り立ち	事前:教科書の該当部分を読む。事後:指定の練習問題を解く。		1	
	3	1章 原子、分子	事前:教科書の該当部分を読む。事後:指定の練習問題を解く。		1	
	4	2章 化学反応式の作り方	事前:教科書の該当部分を読む。事後:指定の練習問題を解く。		1	
	5	2章 物質質量モル	事前:教科書の該当部分を読む。事後:指定の練習問題を解く。		1	
	6	2章 中和反応、酸化還元反応	事前:教科書の該当部分を読む。事後:指定の練習問題を解く。		1	
	7	3章 物質の状態変化	事前:教科書の該当部分を読む。事後:指定の練習問題を解く。		1	
	8	3章 溶解度、濃度計算	事前:教科書の該当部分を読む。事後:指定の練習問題を解く。		1	
	9	3章 コロイド溶液 小テスト	事前:教科書の該当部分を読む。事後:指定の練習問題を解く。		1	
	10	3章 酸と塩基、pHについて	事前:教科書の該当部分を読む。事後:指定の練習問題を解く。		1	
	11	4章 有機化学(炭化水素)	事前:教科書の該当部分を読む。事後:指定の練習問題を解く。		1	
	12	4章 有機化学(アルコール、カルボン酸)	事前:教科書の該当部分を読む。事後:指定の練習問題を解く。		1	
	13	4章 有機化学(エステル、アミン)	事前:教科書の該当部分を読む。事後:指定の練習問題を解く。		1	
	14	4章 有機化学(異性体)	事前:教科書の該当部分を読む。事後:指定の練習問題を解く。		1	
15	講義全体のまとめ	試験に向けて試験範囲の総復習に取り組む。		1		
成績評価方法		知識・理解	思考・判断	興味・意欲・態度	技能・表現	評価割合
	筆記試験	○	○		○	70%
	レポート					
	課題	○	○		○	20%
	実技					
	受講状況・態度 その他( )			○	○	10%
フィードバックの方法	毎週、練習問題指定し、次回の授業にてフィードバックを行います。					
教科書	「食を中心とした化学(第5版)」東京化学社 著/北原 重登、塚本 貞次、野中 靖臣、水崎 幸一					
参考書	なし					
アクティブ・ラーニング	なし					
ICT活用	事後学習に利用できるように、本学e-ラーニング(FWJOnline)を用いて、参考資料などを提示する。					
メッセージ・備考	基礎的な化学知識は、食品・栄養関連分野の科目を学ぶために必要です。高校で化学を学んだ人も、学ばなかった人もしっかりと取り組みましょう。(※健康栄養学科の1年生は必ず履修すること)					
関連科目	基礎栄養学、生化学1、食品学、調理学、食品衛生学					